



十一月のテーマ

「領解(りょうげ)〜こころがけ〜」 住職の仏の眼法話



「備えあれば憂いなし2」

～防災準備と心の拠り所～



前号では北朝鮮の「電磁パルス攻撃の脅威」をお伝えしました。このことはとても重要なことなので、今一度「電磁パルス攻撃」とは何か？そして「自分や家族がどう生き延びたらいいのか」ということを専門家の意見や、私たちが実際に準備している防災対策をお伝えしておきます。



「電磁パルス攻撃」とは、簡単にいうと、高高度(30キロから400キロ)で核爆弾を爆発させ、その結果生じる電磁波で電機機械をすべて壊してしまうという最悪の攻撃です。

(以下「防衛研究所レポート」を参考・転載)

この最悪の攻撃を受けると、電力網、コンピュータ通信、自動車等の点火装置が作動しなくなった社会では水道供給も止まり生存が厳しくなり、経済も一気に崩壊します。

つまり、これが実施されれば「日本は江戸時代に戻る」というのもいいのです。北朝鮮は韓国を併合するつもりでしょうから、韓国には「電磁パルス攻撃」は行わないでしょう。そうすると狙いは米軍基地のある日本ということになります。

さて、電磁パルス攻撃を受けた後の私たちの生活ですが、まず、電子機器は全て故障し使えなくなります。そして停電になり水道も止まります。電話はできません。信号や電車も止まります。ネット、テレビ、ラジオもありません。マンガではありませんが、あの「北斗の拳」や「サバイバル」状態がおとずれます。



まず食べ物の確保が重要になりますが、輸送インフラがまったく死んでしまっているの、食べ物が各家庭やスーパーやコンビニ、倉庫から無くなると、後は畑や山や海や川から取ってくるようになります。

外国から援助物資が届くまでは、田舎はなんとか自給自足で生活できても、都会では当然食糧不足に陥ります。また、水は水道が使えなくなれば、川水や雨水を煮沸して飲むことになります。井戸と手押しポンプがあれば別ですが・・・。ATMも壊れてしまうでしょうから、お金を下ろすこともできません。知っている人同士であれば、ツケにでもできますが、見知らぬ人と取引をする場合、物々交換になるかもしれません。



また、季節が夏であればいいですが、冬なら暖を取る方法が、最初は石油ストーブを使用している、やがて石油の備蓄が尽て底がつかますから、薪ストーブを使つてということになります。ただ、田舎では焚き木を取ってくることは出来ても、都市部はそうはいかないので、冬に「電磁パルス攻撃」を受けると寒さが大敵となるでしょう。雪が積もっているような地域であれば凍死者も出ます。



移動手段は、雪がなければ自転車が最速となります。大量の物資を運ぶ際は、リヤカーを歩いて引くことになります。雪が積もっている地域ならスキーを履いて移動するのが最速になるでしょう。

また、通信手段が一切失われるので、住んでいる地域以外がどうなっているかさっぱりわかりません。政府が国民に連絡を取る方法も無いのです。

電子機器がないので遠くにいる家族や知人と連絡が取れません。人探しは困難を極められると思われれます。通信が使えないので、犯罪が起きて通報ができません。口頭で警察に犯罪を連絡しても、警察も自動車や無線なしで犯人を捕まえるのは不可能でしょう。

したがって、窃盗や強盗、殺人、強姦は多発します(夜は電気がなく真っ暗)。消防車が動かないので、火事が起きると消火が困難です。

病院は治療機器が使えず多数の死者が出ます。輸送システムが死んでいるので、薬が足りなくなります。日本の備えや海外からの支援状況によって、復旧までにかかる時間、受ける被害は変わってくるでしょうが、「電磁パルス攻撃」を受けると、レポートでは一年で全国民の九割が死亡すると書かれています。

普通にミサイル攻撃を受けるよりも圧倒的に大きな被害、多くの死者を出すのです。



さらに、とんでもないことは、自衛隊の兵器も故障し、本来の力を発揮できないので、中国、ロシア、北朝鮮が一気に侵攻してきて領土を占拠するかもしれません。

●「電磁パルス攻撃」を受けた場合に自分や家族が生き延びるために、事前に何をしておけばよいのか？ 実際に、会社、保育園、お寺で実施している防災対策をご紹介します。

1. 食糧と水と医薬品を備蓄しておく。

最低でも一週間以上の保存食と水を備蓄しておくこと。また、井戸水を汲み上げるための発電機（電子回路を破壊されるのでインバーター搭載発電機はダメ。屋台で使ってるような CDI 点火プラグ方式発電機だったら電磁パルス攻撃に耐えられます。例えばホンダだったら EBR2300GX(CX) 発電機など）を用意しておくこと。また、持病がある人はできるだけ薬を余分に持つておくこと。



2 ご近所の人とコミュニケーションをとっておく

ご近所の人たちと自衛集団を形成して自分たちの身を守る。最悪、暴徒や盗賊に襲われるかもしれないので、護衛のための「催眠スプレー」や「スタンガン」「バット」などの武器になるものを用意しておくこと。

3. 現金を家に置いておく

ATM や銀行で現金を下ろせなくなるので、多少の現金を家に置いておくこと。

4. 移動手段の自転車を用意しておく

バイクや車は電気関係がやられて動かなくなるので、自転車を用意しておくこと。またモノを運ぶためのリヤカー等も用意しておくこと。そして、暖を取るため、料理のため、または夜の灯りのため、マッチやライター、焚き付け、ろうそくを用意しておくこと。



5. 通信手段を確保しておく

いくつもの通信局を経由する電話や携帯電話やパソコンはまったく使えなくなるので、中間の通信中継局が不要なアマチュア無線機を用意しておくこと。アマチュア無線について緊急時はライセンスがなくても使用可能。



6, 電子部品の予備パーツを確保しておく

厚さ 10 センチくらいの鉄のトランクの箱を依頼し、車やバイク等、必要品の電子部品の予備パーツを鉄の箱に入れて保管しておくこと。私に任されている会社では、電磁パルス攻撃後に使用する軽トラ、バイク、インバーター搭載発電機、アマチュア無線等の電子部品の予備パーツを鉄の箱に保管している。



私は素人なので間違えている部分があるかもしれませんが、「防衛研究所のレポート」を読んだり、防衛や防災の専門家の話を聞く限り、電磁パルス攻撃を受けたら、上記のように想像を絶する事態となります。また、多くの人の命が犠牲になるでしょうし、経済は大被害を受け、復旧するまでに長い時間がかかるでしょう。

今、普通に生活出来ていること、住むところがある、電気がある、食べ物がある、お風呂がある、ふとんがある、トイレがある、そして仕事があり、家族がいる。改めて「当たり前の日々」を感謝しないとイケないと思いました。

絶対にこんなことは起こって欲しくないですが、こういった最悪の事態が起こった時、最終的に自分の心の拠り所が問われます。

「み仏の誓いを信じ、尊い名を称えつつ、強く明るく生き抜きます」。やっぱり拠り所は、ナンマンダブツです。

合掌 住職

龍城山長松寺	http://ryujou.net/
志和龍城保育園	http://ryujohokusikai.or.jp/
ナチュラルクリーン(株)	http://naturalclean.co.jp/
住職ブログ	http://naturalclean.co.jp/blog6/blog.cgi